

JAMA Canada Report

A Newsletter on the Canadian Automotive industry

www.jama.ca

2009年12月 Vol. 10, No.4

自動車販売、米国式の廃車買換えインセンティブの刺激策なしに次第に回復を続ける

販売

カナダの自動車市場は今年10月末現在までで(2009年1月から10月)、前年同期比を13.2%下回る124万7273台となっている。乗用車販売は、前年同期比19.1%減、軽量トラックは、5.7%減となった。

デトロイトの自動車メーカー(D3)の販売は、10月末現在、前年を20.5%下回る54万6455台で、市場シェアは、前年47.9%から43.8%に下がった。

一方、日系自動車メーカーの販売は、1月から10月期14.2%減の46万9660台で、市場シェアは2008年をわずかに下回る37.7%となった。

全体的には、季節調整した年間販売率(seasonally adjusted annual rate of sales)がゆっくりと改善してきていることから、来年の見通しは慎重ながらもポジティブであり、市場が底打ちした可能性を示している。10月には、乗用車販売が前年同月比2.6%減であった一方、軽量トラック、バン、SUV販売は、4ヶ月連続で0.7%上昇した。

日系自動車メーカーの10月の販売は、2009年に入り初めて上昇を見せ、前年同月を6.7%上回った。さらに注目に値するのは、2009年1月から10月までカナダで販売された日本ブランド車の64.4%は北米製であり、前年同期の

59.9%から上昇していることだ。同時に、日本製自動車の販売は、前年同期から23.8%減少した。

韓国通貨安に乗じて、韓国車販売は、2009年10月現在、13万1066台と25.4%急増し、2008年の7.3%から10.5%へとシェアを伸ばした。カナダにおける欧州車メーカー販売は、10月現在、まちまちだが、前年同期から2.9%の上昇を見せ、市場全体の業績を上回った。

生産

カナダでの生産は、1~6月期からは少し改善したものの、1~9月期現在、なお37.6%減となる。

カナダでの生産は、米国ほどの深刻な不況による影響を受けておらず、米国市場への輸出用生産に大きく依存しているながら、2009年の1月から10月の軽量自動車総生産台数は、前年同期の161万3189台から、100万6564台へと37.6%下降した。

カナダの軽量自動車生産(1-9月)

メーカー	2009	2008	対前年同期比
GM	175,846	361,733	- 51.4%
フォード	161,779	251,282	- 35.6%
クライスラー	202,433	366,526	- 44.8%
ホンダ	188,225	295,001	- 36.2%
トヨタ	223,329	224,659	- 0.6%
CAMI (GMのみ)	54,952	113,988	- 51.8%
合計	1,006,564	1,613,189	- 37.6%

目次

自動車販売徐々に回復.....	1
修理する権利.....	3
カナダ政府の自動車革新基金最新情報.....	4
第6回JAMA Canadaレセプション.....	5
ハーバー首相の挨拶.....	5

カナダにおける自動車生産

	2009年1~9月	2008年1~9月	変化%
HONDA (HCM)	188,225	295,001	-36.2
TOYOTA (TMMC)	223,329	224,659	-0.6
CAMI	54,952	113,988	-51.8
合計	466,506	633,648	-26.4

カナダからの自動車輸出

	2009年1~9月	2008年1~9月	変化%
HONDA (HCM)	135,162	228,615	-40.9
TOYOTA (TMMC)	142,988	143,782	-0.6
CAMI	44,631	94,876	-53
合計	322,781	467,273	-30.9

カナダへの自動車輸入 (出荷)

	2009年1~9月	2008年1~9月	変化%
JAPAN	126,290	190,936	-33.9
U.S./MEXICO	123,503	148,031	-16.6
合計	249,793	338,967	-26.3

出所: JAMA, JAMA Canada

軽量自動車総生産台数は、グローバル経済不況で米国とカナダでの販売がかなり落ち込んだため、前年に比べ60万台以上減少した。

個別では、1月から9月期、GMカナダの生産は51.4%落ち込み17万5846台、クライスラーカナダの生産は、破産保護の期間、全カナダ工場が閉鎖されたため44.8%減の20万2433台となった。フォードカナダの生産は、同時期16万1779台と35.6%減少した。GMとCAMI(現在はGM車のみを生産)両社の工場生産は、2009年の1~9月期、50%以上減少した。

アリソンにあるホンダ(HMC)の生産は、2008年の約30万台から18万8225台と36.2%下降した。トヨタ(TMMC)は、2008年12月にウッドストックに新工場を開設したため、2009年の減少は0.6%にとどまった。しかし、ウッドストック工場でのRAV4の生産は、引き続き一交代で行われている。ケンブリッジ工場の生産のみでいうと、1~9月期、26.0%減の16万6272台となった。ウッドストック工場でのRAV4の生産は、2009年5万7057台に達している。CAMIでの生産は、前年の11万3988台

企業別に見たカナダの軽量自動車販売

企業	2009年1~10月			2008年1~10月			変化(%)			
	乗用車	トラック	合計	乗用車	トラック	合計	乗用車	トラック	合計	
HONDA	82,223	36,524	118,747	107,934	43,645	151,579	-23.8	-16.3	-21.7	
	北米製	71,621	36,524	108,145	89,903	43,633	133,536	-20.3	-16.3	-19
	日本製	10,602	0	10,602	18,031	12	18,043	-41.2	-100	-41.2
TOYOTA	107,802	63,493	171,295	145,582	56,032	201,614	-26	13.3	-15	
	北米製	77,094	52,218	129,312	96,396	26,472	122,868	-20	97.3	5.2
	日本製	30,708	11,275	41,983	49,186	29,560	78,746	-37.6	-61.9	-46.7
MAZDA	55,192	9,102	64,294	63,159	12,281	75,440	-12.6	-25.9	-14.8	
	北米製	5,838	5,762	11,600	5,494	7,495	12,989	6.3	-23.1	-10.7
	日本製	49,354	3,340	52,694	57,665	4,786	62,451	-14.4	-30.2	-15.6
NISSAN	48,910	19,654	68,564	50,238	23,758	73,996	-2.6	-17.3	-7.3	
	北米製*	42,679	4,444	47,123	45,545	5,595	51,140	-6.3	-20.6	-7.9
	日本製	6,231	15,210	21,441	4,693	18,163	22,856	32.8	-16.3	-6.2
SUZUKI	7,287	3,596	10,883	8,535	3,269	11,804	-14.6	10	-7.8	
	北米製	0	880	880	0	437	437	0	101.4	101.4
	日本製	7,287	2,716	10,003	8,535	2,832	11,367	-14.6	-4.1	-12
SUBARU	9,876	8,998	18,874	10,842	6,048	16,890	-8.9	48.8	11.7	
	北米製	2,172	1,778	3,950	3,618	795	4,413	-40	123.6	-10.5
	日本製	7,704	7,220	14,924	7,224	5,253	12,477	6.6	37.4	19.6
MITSUBISHI	9,335	7,668	17,003	10,229	5,633	15,862	-8.7	36.1	7.2	
	北米製	1,146	502	1,648	2,257	341	2,598	-49.2	47.2	-36.6
	日本製	8,189	7,166	15,355	7,972	5,292	13,264	2.7	35.4	15.8
合計	320,625	149,035	469,660	396,519	150,666	547,185	-19.1	-1.1	-14.2	
	北米製	200,550	102,108	302,658	243,213	84,768	327,981	-17.5	20.5	-7.7
	日本製	120,075	46,927	167,002	153,306	65,898	219,204	-21.7	-28.8	-23.8

*メキシコ製の販売も含む

出所: AIAMC, デロジエ・オートモーティブ・コンサルティング・インク

から51.8%落ち込み、5万4952台となったが、スズキが2008年後半にX L 7の生産をやめたことから、この数字はGMのみの数字となる。

輸出

カナダの日系自動車工場(ホンダとトヨタ、CAMIは現在GM車のみを生産)からの輸出は、同様に、2009年1～9月、前年同期から25.3%と大きく減少し、27万8150台となった。9万4000台以上の落ち込みになる。カナダの日系自動車メーカーの生産に対する輸出比率は、2009年1～9月、HCMとTMMCでの合計生産台数41万1554台に対し67.6%となり、前年同期の71.7%から減少を見た。

HCMからの1～9月期の輸出は、40.9%減の13万5162台で、うち約96.8%は、米国へ向けられた。一方、TMMCは、前年同期比0.6%減の、14万2988台の軽量自動車を輸出したが、うち91.1%が米国へ輸出された。

輸入

2009年1～9月、日本からカナダ市場への輸入は、前年の19万936台から、12万6310台へと33.8%落ち込んだが、これは、同期間のJAMA加盟各社全体の販売減少率よりもかなり大きな減少率となった。

同時期に、米国とメキシコにある日系工場からの輸入は、前年同期比16.6%減の12万3503台となったが、2009年1～6月期の21.9%よりは軽い減少率となった。

日本とNAFTA諸国からカナダへの完成車輸入合計は、1～9月期26.3%減少し24万9813台となり、8万9000台以上の下降を見た。

修理する権利：業界関係者間の自主合意が法の要求を超える

自動車メーカー各社は、顧客が近くの修理店でサービスを受けることができるように、カナダの修理サービス事業者と提携した。

「カナダの修理サービス業界を代表して、カナダの自動車メーカー各社と自主的な全国契約を締結したことを喜ばしく思う」と、全国自動車修理協会(National Automotive Trades Association, NATA)のデール・フィンチ上級副会長は言う。「この契約は、すべての自動車メーカーが、カナダの修理サービス業界における競争を促進することになる

修理サービス情報を提供するように求めるもので、カナダの消費者の利益につながるものだ。」

カナダ自動車サービス情報基準(Canadian Automotive Service Information Standard, CASIS)により、カナダの自動車修理事業者が自動車メーカーの修理サービス情報にアクセスできるようになる。さらに、カナダ全国の修理事業者はツールやトレーニング情報にもアクセスできるようになる。CASISは、すべての自動車メーカーが、2010年5月までにこれらの情報を提供するように求めている。

「CASISは、長い間、業界の課題となってきた問題への、業界によるすばらしい解決策だ」と、カナダ国際自動車工業会(Association of International Automobile Manufacturers of Canada)のデイビッド・アダムズ会長は語る。「この合意は、自動車が複雑さを増し、自動車テクノロジーがめまぐるしく変化する環境で、修理事業者や顧客が持つ懸念に対処するのに必要な柔軟性を提供するものだ。」

カナダ自動車工業会(Canadian Vehicle Manufacturers' Association)のマーク・ナンテス会長は、「修理サービス業界と自動車メーカーの間での数ヶ月にわたる協力的な話し合いの結果、CASISを実施することになりうれしく思う。カナダの消費者にとって、修理やサービスに車を持っていく選択肢が広まり、この合意の最大の勝者は消費者となると確信している。」

CASISの背景

- ・カナダの自動車メーカーの約50%が現在、自主的に修理サービス情報を、法律での要求なしに独立修理事業者に提供している。
- ・今日、自動車修理サービス全体の65%以上は、独立修理事業者が行っている。
- ・クレメント産業大臣による自主的な解決策の求めに応じ、カナダの自動車メーカーは、独立修理事業者と協力して、カナダの自動車修理サービスに必要な排気・非排気関連のサービス情報、診断ツール、トレーニング情報へのアクセスを提供する自主的な解決策を作成した。
- ・クレメント大臣が解決策求めを出す前は、カナダの競争法(Competition Act)のもとでの法的な懸念のために、自主的な合意は不可能であると考えられていた。
- ・自動車業界は、2009年9月末までに自主合意を締結する意図を、2009年5月1日に署名された覚書(Letter of Intent)で、産業大臣や国会議員に表明した。

業界のコミットメント

- ・カナダの修理サービス業界を代表する全国自動車修理協会(NATA)は、カナダで営業している自動車メーカーを代表する国際自動車工業会(AIAMC)とカナダ自動車工業会(CVMA)と連携し、自主合意を作成する運びとなった。
- ・現在カナダで営業している自動車メーカーは、CASISを守り、その条項は、将来カナダに進出する新規参入者にも適用されるように定められている。
- ・カナダの自動車修理サービス事業者すべては、提携関係などにかかわらずCASISのもとで提供される情報にアクセスできるようになる。
- ・CASISは、自動車メーカー、独立修理事業者、米国議会の支援を得た米国の同様な自主合意を模したものである。
- ・CASISは、法律のもとでは不可能であった形で、柔軟に、変化する自動車テクノロジーや市場状況に対応できる。

CASIS

- ・CASISは、自動車メーカーがカナダで修理サービス情報を一貫して提供するという公平な市場を作る。
- ・2010年5月までには、カナダで最新のCASISが、すべての自動車メーカーによって完全実施される。
- ・CASISのもとで入手できるようになる修理サービス情報は、提携関係などにかかわらず、カナダのすべての地元や独立系の修理事業者に提供される。
- ・CASISは、カナダ全国で、自動車修理サービスにおける消費者の選択肢を強化する。

カナダ政府の自動車革新基金 (Automotive Innovation Fund, AIF) 最新情報

プログラム概要

自動車革新基金(Automotive Innovation Fund, AIF)は、革新的で、より環境にやさしく、より燃費のよい車を開発するための戦略的な大規模のR&Dプロジェクトを支援するために、自動車メーカーに5年間で2億5000万ドルを提供するべく、2008年に設定された。

適用資格基準が、3億ドルから7500万ドルに引き下げされる

AIFのもとでは、カナダ産業省が、カナダでの5年間にわたり7500万ドル以上の民間投資提案に、資金提供を考慮する。資格あるプロジェクトとしては、かなりの自動車革新やR&D構想に関連する自動車やパワートレインの組立工場などがあげられる。その他の大規模自動車革新やR&D構想も、7500万ドルの基準を満たせば、考慮される。

メーカーからの提案は、以下への貢献度によって審査される。

- ・カナダでの自動車R&D能力と知識労働者の雇用
- ・政府の科学技術戦略と環境方針
- ・革新的な低燃費技術や工程の開発
- ・かなりの雇用創出・維持を含む、カナダへの長期的な経済的利益
- ・カナダの競争力を増強するようなさらなる投資をひきつける可能性

AIFのもとでの支援は、以下のようなより環境に配慮したより低燃費な車を、開発し作る大型な自動車革新やR&D構想に提供される。

- ・新製品開発(例：先進排ガス技術、エネルギー効率の高いエンジンやトランスミッション、エンジニアリング・プラスチックや軽量部品・素材などの先進素材)
- ・最先端のエンジニアリングやデザイン、プロトタイプ開発
- ・よりクリーンな、より効率のよい自動車パフォーマンス、温暖化ガス削減を確実にする高度な製品試験
- ・先進の柔軟な製造技術を含む、新しい製造方法や工程技术の開発
- ・最先端でよりエネルギー効率のよい自動車やパワートレインを生産するための新規工場あるいは工場拡張
- ・新しいフレキシブル製造工程へのかなりの投資
- ・生産性や効率をかなり増大させるようなその他新規の変化をひきおこすような生産技術の導入

個々の提案は、R&Dと革新、環境や経済的な利益を含む、ビジネスケースの力を考慮して評価される。

さらに詳しい情報は、以下のサイトに掲載されている。
www.ic.gc.ca/eic/site/auto-auto.nsf/eng/am02257.html

JAMA Canadaのオタワでの第6回議会レセプション

JAMA Canadaは、25周年を祝賀して、11月16日に、約100名の国会議員、連邦政府官僚、大臣側近その他の招待客を招いてオタワでレセプションを開いた。シムコ・グレイ選挙区(ホンダのアリントン工場所在地)の議員でもある

ヘレナ・ガージェス国務大臣(女性の地位向上担当)が、ステイブン・ハーパー首相からの書簡を読み、西田在加日本大使、北米JAPIA河島専務理事、JAMA Canada会長を務める、トヨタ・カナダ富原社長兼CEOが短い挨拶をした。

ハーパー首相の書簡は以下の通り。



PRIME MINISTER · PREMIER MINISTRE

2009年11月16日

首相からの挨拶

強力で競争力のある自動車産業は、カナダの経済にとって重要です。JAMA Canadaがこの重要な業界の支援を始めてから25周年を迎えるにあたり、お祝いを申し上げる機会をいただきうれしく思います。

過去四半世紀、カナダの日系自動車業界は、大きな課題に直面しながら、すばらしい成功を収めてこられました。昨年4月、JAMAの加盟各社は、カナダで製造された1000万台目の車がロールオフした際に大きなマイルストーンを祝われました。この顕著な達成は、日本の自動車メーカーの活力を示すものです。加盟各社の皆様は、カナダ全国で、引き続き貿易、投資、雇用機会を生み出されています。

また、JAMA加盟各社の皆様方には、日加間の産業協力を強化するべくご尽力されたことにお礼申し上げます。両国間の結びつきが深まるのは、両国にとって有益です。JAMAは、過去25年間、カナダにおける強力で建設的な代弁者となってこられました。カナダの自動車産業を引き続き支持し、ご指導いただけることを願っております。

カナダ政府を代表して、このすばらしい25周年の祝賀にお祝い申し上げます。

敬具

カナダ首相



ゲリー・グッドイヤー 国務大臣 (科学技術担当)



西田在加日本大使と富原JAMA Canada会長兼トヨタカナダ社長/CEO



ヘレナ・ガージェス 国務大臣 (女性の地位向上担当) と西田在加日本大使



(左から)西前ホンダカナダ社長/CEO、横山スバルカナダ社長/CEO、西田在加日本大使



(左から)カナディアンCCE評議会のサム・ブチウヴィスVP、ホンダカナダのルイ・ゲイタン、西前JAMA Canada副会長兼ホンダカナダ社長/CEO